

第92号



すいせん

卒園を祝う会

園長 有原 正俊

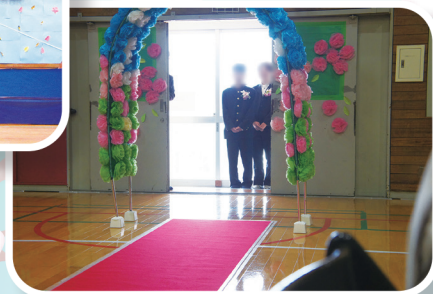
3月2日、「卒園を祝う会」が開催されました。今年は3名の児童が卒園しました。

3名とも当学園に10年以上在籍し、この度、それぞれ巣立っていきます。この卒園を祝う会には、元職員も参加してくれ、遠くは新潟県からわざわざ学園に来ていただき、当日はお祝いの言葉や歌も披露してくださるなど、卒園を祝う会を盛り上げてもらいました。

特に、3名の幼少期の写真の紹介がありました。3名の幼少期の写真の紹介がありましたが、ベテラン職員が懐かしそうに見ながら目を潤ませていたのが印象的でした。

私は園長挨拶の中で、ある作家のメッセージを贈りました。「18歳になっても大人になるわけではない。テストはなくなっても、自分を試され、正解はなく、それぞれ答えがある。できないことがあったらまわりを頼り、どんなに迷っても自分の選んだ道を信じるだけ。」とメッセージを贈りました。

そして、卒園生の挨拶では、「自分の選んだ道を信じて進みます。」何かあれば、学園に相談します。」と言ってくれたのが嬉しく思いました。3名がそれぞれ苦難を乗り越え自立してくれることを切に願っています。



クリスマス会

子どもたちの笑顔が見られて良かった。サンタさんを信じている子どももいて可愛らしかったし手紙をくれた子もいて嬉しかった。
おやじの会



初めてのクリスマス会でビンゴをしたりケーキを食べることができて楽しかったし嬉しかった。サンタさんからプレゼントを貰うことができてうれしかった!! H.R (小4)



よいしょ！
よいしょ！

杵が重くて、大変でしたが、もちもちなおもちができて、とてもいい体験ができました。また、昼食でたのおもちはとてもおいしかったです。

O・M (小6)



今年の勝山学園の元旦は、新年の挨拶会から始まり、お屠蘇、子どもたちが楽しみにしているお年玉、そして卒園生を囲む会でした。

始まりの挨拶は恒例の「卒園生のみなさん、お帰りのさい」でした。当日は6人の卒園生が来てくれました。毎年必ず来てくれる家族や、久しぶりに子ども達と一緒に来てくれたり、更に今回は結婚報告も聞くことができました。思い出話や近況報告を聞いていたら、あつという間に時間が過ぎてしまいました。最後は名残惜しかったですが、また来てねと挨拶を交わしました。

また来年の元旦、皆さんにお会いできることを楽しみにしています。

卒園生を囲む会

鈴木 綾菜



22日は群馬のたんばらスキー場に行き、23日はお台場のジョイポリスに行きました。

初めてのスノーボードでしたが、千葉県は雪が積もらないので、雪が新鮮だったのと思っていたよりスノーボードは難しかったが楽しめた。両日とも宿泊先の水芭蕉のご飯が美味しくて、特に米は別格だった！一日目夜のレクは漫才のテンポ良くて、人間紙芝居面白かったのと二日目のジョイポリスは待ち時間少ない所を先に行き、他にもいろいろ回って、最後にジェットコースターにも乗ったが最高でした。

S・S (高2)

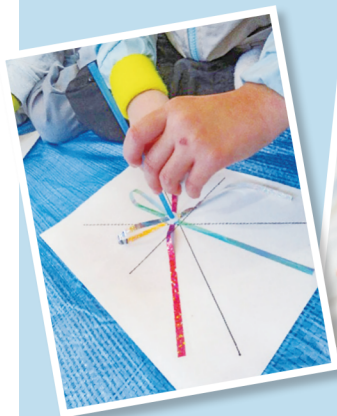


冬のお楽しみ会



12月15日に鋸南町子ども育成会が行う冬のお楽しみ会に参加しました。工作やレクリエーション、お餅つきを行いました。工作ではシャボン玉を作り、子どもたちが自分でついたお餅を、きなこや磯辺などに味付けしてもらい、いただきました。地域の方々と交流する中で、子どもたちの笑顔がたくさん見られました。

浅野 唯



正月の生活



元旦には無病長寿を願い、お屠蘇を飲みます。炬燵でのんびりと過ごしたり、初詣に行くなどして過ごしています。





今日はわかしおがたのしかなかったです。42位で前よりかはいいんじゃないのと思いましたが、タイムが去年より30秒速く走れたのが、うれしかったです。あと3年間出ます！

M・R (小3)

疲れたけど、最後まで走り切ることができて嬉しかった。子どもと大人と一緒に走れて楽しかった。練習の成果もはつきすることができた。

M・S (小4)

若潮マラソン

フーイト!



わたしたちの町



鈴木 深優



この春にこちらに引っ越してきて、就職しました。出勤の際に、車を使用しているのですが、その

際に驚いたのが、道端に咲く四季折々の花たちです。これまで住んでいた場所は、人が多くて草木をみる頻度も少なく、花に興味を持ったことも感動したこともあまりなかったのですが、この町に来て初めて花の魅力を感じるようになりました。町全体が、どの季節も鮮やかなのです。代表的な植物で言うと、春はネモフィラや桜、夏は紫陽花に向日葵、秋は紅葉、コスモス、そして冬はこの刊行物タイトルでもある、すいせん。季節ごと咲く花々を見ながら来ると、自然と笑顔になります。そして同時に、きつとこんな綺麗に立派に咲いているのだから、どこかで誰かが手入れしてくれているんだらうなと思う、心が温かくなります。ただふらつとお散歩するだけでも温かい気持ちになれる鋸南町が、私は大好きです。



「すいせん」に対する
ご意見・ご感想をお寄せください!

アンケートはこちらから



ご寄付・ご寄贈ありがとうございました

株式会社小田急百貨店御中、(株)Daska & Desiree 御中、(株)チュチュアンナ御中、文屋 (ぶんや) 御中、COSTCO WHOLESALE 幕張倉庫店御中、湯浅 一郎 様、一般財団法人 日本レコード協会御中、全国シャンメリー 協同組合御中、日本テレビ 24 時間テレビ事務局御中、ほっともっと御中、認定 NPO 法人 グッドライフ御中、日本鏡餅組合御中、株式会社メリーチョコレートカンパニー御中、公益財団法人 毎日新聞東京社会事業団御中、一般社団法人 東京馬主協会御中、一般社団法人 ハートリボン協会御中、東海建設株式会社御中、吉岡 直人 様



日に日に寒さも和らぎ、頼朝桜が春の訪れを感じさせてくれています。

地域の皆様におかれましては、日頃より温かく子ども達を見守っていただき誠にありがとうございます。今年度は3名の卒園生を学園から送り出すこととなりました。この地で皆様に見守られながら育ってきた彼らが無事成人を迎えられましたのは、ひとえに皆様のご支援のおかげです。今後は新たな場所ですらしく社会参加ができるよう、職員一同願っております。

今後とも当園をどうぞよろしくお願いいたします。

東京都勝山学園 広報委員会

高橋はるみ



@KATSUYAMAGAKUEN

東京都勝山学園 広報委員会
編集長 高橋 はるみ
編集委員 浅野 唯
須藤 隼
田村 隼

松坂 典子
石川 里奈
鈴木 深優
鈴木 郁江
正木 郁江

令和6年度

編集・印刷・発行

千葉県安房郡鋸南町下佐久間 1469

社会福祉法人東京都社会福祉事業団

東京都勝山学園

☎ 0470-55-0541

発行年月日

令和7年3月17日